

## 摂食嚥下リハビリテーション学分野

-15日, 日本口腔外科学会雑誌 64(2): 163頁, 2015.

- 47) 眞館幸平, 高木律男, 大湊 麗, 児玉泰光, 飯田明彦, 小野和宏, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 二段階形成法において Furlow 法を施行した口蓋裂児の顎発育 - Perko 法との比較 -. 第 48 回新潟歯学会総会, 新潟, 2015 年 4 月 18 日, 新潟歯学会雑誌 45(1): 27 頁, 2015.

### 【研究会発表】

- 1) 福井忠雄: 成長期上顎前突症例(下顎骨の下方成長が優位な症例). 第 37 回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015 年 4 月 20 日.
- 2) 福井忠雄: 成長期上顎前突症例(下顎骨の前方成長が優位な症例). 第 37 回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015 年 4 月 20 日.
- 3) 福井忠雄: 成人の著しい叢生を伴う上顎前突症例. 第 37 回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015 年 4 月 20 日.
- 4) 竹山雅規: 成長期の中立咬合症例. 第 37 回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015 年 4 月 20 日.
- 5) 竹山雅規: 成人期の中立咬合症例. 第 37 回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015 年 4 月 20 日.

### 【受賞】

- 1) 眞野樹子, 石渡靖夫, 朝日藤寿一, 岩田敏男, 坂本照雄, 森下 格, 山元有理, 須田直人, 須佐美隆史, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂における矯正歯科治療後の咬合に関する多施設アンケート調査. 優秀ポスター賞, 第 39 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2015 年 5 月 22 日.

### 【その他】

- 1) 齋藤 功: 顎変形症の矯正治療. 長崎大学歯学部特別講義, 長崎, 2015 年 7 月 14 日.
- 2) 齋藤 功: 新潟大学における顎変形症治療システムの紹介. 長崎大学大学院歯科矯正学分野・矯正セミナー, 長崎, 2015 年 7 月 13 日.
- 3) 齋藤 功: 新潟大学における矯正治療のコンセプトと臨床の実際 - 成人矯正治療例および他科との協同治療を中心に -. 北海道医療大学歯学部矯正歯科学講座同門会セミナー, 札幌, 2015 年 7 月 1 日.
- 4) 丹原 惇: シミュレーションで探る歯の移動メカニクス 歯科矯正学の世界に新たな可能性を切り拓く. 株式会社 CAE ソリューションズ ホームページ掲載, <http://www.cae-sc.com/ed-autodesk-simulation-mechanical/ed-autodesk-simulation-mechanical-0001.html>, 2015.

### 【著書】

- 1) 井上 誠: 摂食嚥下と呼吸. 摂食嚥下リハビリテーション, 医歯薬出版, 印刷中.
- 2) 高松 潔, 小川真理子, 伊藤加代子: 第 4 章⑤ドライバジャイナの検査, 診断と治療, ドライシンドロームの基礎と臨床, メディカルレビュー社, 162-168, 2016.
- 3) 高松 潔, 小川真理子, 伊藤加代子: 第 3 章⑦女性ホルモンとドライシンドローム, ドライシンドロームの基礎と臨床, メディカルレビュー社, 129-135, 2016.

### 【論文】

- 1) Magara J, Michou E, Raginis-Zborowska A, Inoue M, Hamdy S: Exploring the effects of synchronous pharyngeal electrical stimulation with swallowing carbonated water on cortical excitability in the human pharyngeal motor system. *Neurogastroenterol Motil*, in press.
- 2) Kishimoto N, Stegaroiu R, Shibata S, Ito K, Inoue M, Ohuchi A: Changes in the Oral Moisture and the Amount of Microorganisms in Saliva and Tongue Coating after Oral Ingestion Resumption: a Pilot Study. *The Open Dentistry Journal*, in press.
- 3) Tsujimura T, Tsuji K, Magara J, Sakai S, Suzuki T, Nakamura Y, Nozawa-Inoue K, Inoue M: Differential response properties of peripherally and cortically evoked swallows by electrical stimulation in anesthetized rats. *Brain Res Bull* 122:12-18, 2016.
- 4) Michou E, Raginis-Zborowska A, Watanabe M, Lodhi T, Hamdy S: Repetitive transcranial magnetic stimulation; a novel approach for treating oropharyngeal dysphagia. *Curr Gastroenterol Rep* 18(2):1-9, 2016.
- 5) Shiino Y, Sakai S, Takeishi R, Hayashi H, Watanabe M, Tsujimura T, Magara J, Ito K, Tsukada T, Inoue M: Effect of body posture on involuntary swallow in healthy volunteers. *Physiol Behav* 155:250-259, 2016.
- 6) Iwasaki M, Yoshihara A, Ito K, Sato M, Minagawa K, Muramatsu K, Watanabe R, Manz M, Ansai T, Miyazaki H: Hyposalivation and dietary nutrient intake among community-based older Japanese. *Geriatrics Gerodontology*, in press.
- 7) Sogawa Y, Kimura S, Harigae T, Sakurai N, Toyosato A, Nishikawa T, Inoue M, Murasawa A, Endo N: New Swallowing Evaluation using Piezoelectricity in Normal Individuals. *Dysphagia* 30:759-767, 2015.

- 8) Iguchi H, Magara J, Nakamura Y, Tsujimura T, Ito K, Inoue M: Changes in jaw muscle activity and physical property of foods with different textures during chewing. *Physiol Behav* 152:217-224, 2015.
  - 9) Aida S, Takeishi R, Magara J, Watanabe M, Ito K, Nakamura Y, Tsujimura T, Hayashi H, Inoue M: Peripheral and central control of swallowing initiation in healthy humans. *Physiol Behav* 151:404-411, 2015.
  - 10) Taniguchi H, Nakayama H, Hori H, Nishizawa M, Inoue M, Shimohata T: Esophageal involvement in multiple system atrophy. *Dysphagia* 30(6):669-673, 2015.
  - 11) Satoh Y, Tsuji K, Tsujimura T, Ishizuka K, Inoue M: Suppression of the swallowing reflex by stimulation of the red nucleus. *Brain Res Bull* 116:25-33, 2015.
  - 12) Li Q, Minagi Y, Hori K, Kondoh J, Fujiwara S, Tamine K, Inoue M, Maeda Y, Chen Y, Ono T: Coordination in oro-pharyngeal biomechanics during human swallowing. *Physiol Behav* 147:300-305, 2015.
  - 13) 本間正寿, 林 豊彦, 井上 誠, 道見 登: 咽頭への溶液刺激が嚥下時喉頭運動と舌骨上筋群筋活動に与える影響. *日顎口腔機能会誌* 22 (1) : 6-13, 2015.
  - 14) 鈴木 拓, 井上 誠: 小脳橋角部髄膜腫摘出術後に嚥下障害を認めた一例. *新潟歯学会誌* 45 (2) : 81-85, 2015.
  - 15) 井上 誠: 咀嚼と嚥下反射に関する最近の知見. *ベーシックサイエンス, 嚥下医学* Vo. 4 (2) : 182-188, 2015.
  - 16) 大西淑美, 井上侑香, 井上雅子, 伊藤加代子: 周術期口腔機能管理による口腔環境の変化～臨床的な効果について～. *日歯衛会誌*, 9(2) : 80-87, 2015.
- 【商業誌】**
- 1) 井上 誠: 避けて通れない摂食嚥下障害への取り組み. 特集 高齢社会と口腔の健康. 月間保団連 12月号 : 10-19, 2015.
  - 2) 井上 誠: 嚥下からみた咀嚼. 口腔の生理から考える. *日本歯科評論*, No. 873, Vo. 75(7) : 129-134, 2015.
  - 3) 井上 誠: 食べるあなたと測るわたし—食べる機能はこうやって測る—. *ふーまアカデミックプラザ* No. 70. *ふーま*, Vol. 32-1, 125:22-25, 2015.
  - 4) 伊藤加代子, 井上 誠: お口の乾燥が気になる患者さんに説明しよう! 唾液が減るとなぜ悪い?. *歯科衛生士*, 39 : 17-25, 2015.
- 【研究費獲得】**
- 1) 井上 誠 (研究代表者) : ヒト嚥下反射誘発および高次機能評価システムの構築. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的萌芽研究, 課題番号 25670814, 2015.
  - 2) 井上 誠 (主担当研究者) : 複合的アプローチによる摂食機能解明を目指した国際共同研究拠点の構築. 日本学術振興会平成 26 年度頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム, 2015.
  - 3) 井上 誠 (研究代表者) : 地域に根差した要介護高齢者の摂食・嚥下障害サポート体制の構築. 第 44 回 (平成 26 年度) 三菱財団社会福祉事業・研究助成, 2015.
  - 4) 井上 誠 : 科研費応募支援プログラム, 2015.
  - 5) 井上 誠 (分担研究者), 中村由紀 (研究代表者) : 咽頭への味覚刺激がもたらす嚥下変調効果を発達過程から解明する. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 : 15K11194, 2015.
  - 6) 井上 誠 (分担研究者) : ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価の臨床応用. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 : 15K01362, 2015.
  - 7) 井上 誠 (分担研究者) : レトロネーザルを応用した咽頭残留の定量評価～咽頭残留に影響する因子～. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 : 15K11194, 2015.
  - 8) 井上 誠 (研究代表者) : 超高齢社会におけるフレイルを克服する. (公財) 8020 推進財団, 2015.
  - 9) 辻村恭憲 (研究代表者) : 舌機能障害が嚥下に及ぼす影響. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金若手研究(B), 課題番号 26870207, 2015.
  - 10) 真柄 仁 (研究代表者) : 咽頭電気刺激の嚥下誘発機構と神経・筋機構の解明. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 26861630, 2015.
  - 11) 中村由紀 (研究代表者) : 咽頭への味覚刺激がもたらす嚥下変調効果を発達過程から解明する. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 26463108, 2015.
  - 12) 中村由紀 (研究代表者) : 小児の摂食・嚥下障害に対応した嚥下調整食の検討と実践へ. 平成 27 年度公益財団法人日本科学協会笹川科学研究助成, 実践研究, 研究番号 27-818, 2015.
  - 13) 船山さおり (研究代表者) : 自発性異常味覚の評価にマグネシウムは応用できるか?. 平成 27 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 26463182, 2015.
  - 14) 伊藤加代子 (研究代表者) : ドライシンドロームの有訴率および原因探索に関する研究. 平成 27 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 25463238, 2015.

- 15) 伊藤加代子 (分担研究者) : 「渇き」への爽快感のある「潤い」は是が非か?. 平成 27 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 26468131, 2015.
- 16) 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費 (新潟県歯科医師会), 2015.
- 17) 炭酸飲料の嚥下促進効果の検証に関する研究 (共同研究費, アサヒ飲料株式会社), 2015.
- 18) 超高齢社会における疾病の予防に対応する新規医療機器の開発 (受託研究費, 株式会社ライフ), 2015
- 19) ドライシンドローム研究に係る研究助成 (ライオン株式会社), 2015.
- 20) 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成 (恵風園), 2015.
- 21) 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究助成 (にいがた摂食嚥下障害サポート研究会). 2015.
- 22) 舌ブラシの形態・材質が舌苔除去およびブラシの付着菌数に与える影響に関する研究 (四季園), 2015.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Sakai S, Suzuki T, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M : Changes of trigeminal neuronal excitability during swallowing. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, 2016.1.9-11.
- 2) Suzuki T, Sakai S, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Effects of cortically evoked rhythmic jaw movements on initiation of swallowing. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Lombok, Indonesia, 2016.1.9-11.
- 3) Magara J, Inoue M: The effect of combining pharyngeal electrical stimulation with simultaneous swallowing solutions on swallowing motor system. Collaborative Symposium, Lombok, Indonesia, 2016.1.9-11.
- 4) Nakamura Y, Takahashi K, Brown KA, Arce-McShane FI, Hatsopoulos NG, Ross CF: Spectral profiles of local field potentials of somatosensory and motor cortices during feeding. Society for Neuroscience Satellite symposium, Chicago, USA, 2015.11.16.
- 5) Takahashi K, Nakamura Y, Brown KA, Arce-McShane FI, Ross CF, Hatsopoulos NG : Spectral profiles of local field potentials of somatosensory and motor cortices during feeding. Society for Neuroscience Nanosymposium, Chicago, USA, 2015.11.17.
- 6) Tenkumo T, Takeuchi Y, Hong G, Ishida Y, Takeishi R, Mimura S, Syuto T, Oka H, Yoshiba K, Fujii N, Ono K, Tsuga K, Taji T, Takahashi N, Uoshima K, Nikawa H, Sasaki K, Sugai M, Maeda T: Achievement of sophisticate dental education program in collaboration with Niigata, Tohoku and Hiroshima Universities. 6th Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima, 2015.10.23-25.
- 7) Inoue M: Dysphagia Rehabilitation in Japan -now and future-. 12th Asian Congress of Nutrition, Yokohama, Japan, 2015.5.16.
- 8) 井上 誠 : 末梢刺激がもたらす嚥下機能への影響. 第 39 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 大阪, 2016 年 2 月 12-13 日.
- 9) 伊藤加代子 : 食事を「おいしく」食べるには～唾液、味覚の重要性～. 新潟医療福祉学会学術大会, 新潟, 2015 年 10 月 31 日.
- 10) 酒井翔悟, 鈴木 拓, 辻 光順, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠 : 嚥下時における口腔感覚の変調. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会サテライトシンポジウム 9 「口腔生理学分野の研究最前線 Frontier in the field of Oral Physiology」, 新潟, 2015 年 9 月 11 日.
- 11) 井上 誠 : 末梢刺激がもたらす摂食嚥下機能の改善への期待. パネルディスカッション「臨床応用に役立つ摂食嚥下研究の最前線」, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11 日.
- 12) 辻村恭憲, 井上 誠 : 咀嚼・嚥下機能連関の基礎的検証. パネルディスカッション「プロセスモデルアップデートー評価から訓練への応用」, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日.
- 13) 井上 誠 : 超高齢社会と歯科の関わり. 第 45 回保団連夏季セミナー, シンポジウム「2025 年の地域医療・介護構想への”対抗と対応”を考える」, 東京, 2015 年 7 月 5 日.
- 14) 井上 誠 : 新潟県における摂食嚥下障害への取り組み. 第 52 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 新潟, 2015 年 5 月 30 日.
- 15) 伊藤加代子 : 生殖器以外へのエストロゲンの効果～口腔における効果～, 第 15 回日本抗加齢医学会総会, 福岡, 2015 年 5 月 29-31 日, 日本抗加齢医学会抄録集, 113, 2015.
- 16) 真柄 仁 : 感覚刺激がもたらす嚥下機能の変化 「機能研究の未来創造 ～2050 年の顎口腔機能研究～」 第 54 回日本顎口腔機能学会, 鹿児島, 2015 年 4 月 18-19 日.

#### 【招待講演・シンポジウム (学術大会以外)】

- 1) 井上 誠 : 歯科における摂食嚥下リハビリテーション

- ンへの期待と課題. 福岡県歯科保険医協会講演会, 博多, 2016年1月30日.
- 2) 井上 誠: 摂食嚥下リハビリテーションに関する臨床および産学連携への期待. 北海道医療大学FD講演会, 石狩, 2016年1月20日.
  - 3) 井上 誠: 在宅歯科診療における摂食嚥下リハビリテーションへの期待と課題. 新発田市歯科医師会講演会, 新発田, 2015年12月12日.
  - 4) 伊藤加代子: 口腔ケア・食事介助の基本を学ぶ. 平成27年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, 新潟市, 2015年12月2日.
  - 5) 井上 誠: 医療の現場から～咀嚼機能を向上させる食品について～. IPC 財団主催次世代戦略設計のための連続講座, 新潟, 2015年11月25日.
  - 6) 真柄 仁: 摂食嚥下スクリーニング検査. 江南区口腔ケアと嚥下を考える会, 新潟, 2015年11月24日.
  - 7) 辻村恭憲: 摂食嚥下スクリーニング検査. 江南区口腔ケアと嚥下を考える会, 新潟, 2015年11月16日.
  - 8) 伊藤加代子: 高齢者の口腔機能向上の必要性和トレーニング方法について. 地域保健医療推進新潟ブロック歯科衛生士研修会, 新潟, 2015年11月15日.
  - 9) 真柄 仁: 摂食嚥下障害と口腔ケア. 新潟県厚生連歯科衛生士会秋季研修会, 長岡, 2015年11月15日.
  - 10) 伊藤加代子: 口腔ケアをもう一度見直そう. 平成27年度口腔ケア研修会, 新潟市歯科医師会, 新潟, 2015年11月11日.
  - 11) 井上 誠: 地域で支える食介護. 竹田総合病院 NST委員会主催研修会, 会津若松, 2015年11月9日.
  - 12) 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院ならびに新潟県における摂食嚥下障害への取り組み. 東北大学病院栄養サポートチーム講演会, 仙台, 2015年11月2日.
  - 13) 伊藤加代子: 口腔機能の維持・向上と口腔ケアの必要性. 平成27年度中越地区口腔ケア研修会, 柏崎市, 2015年11月2日.
  - 14) 伊藤加代子: 介護技術講習(食事、口腔ケア). ケアサポート講習, 介護労働安定センター, 新潟市, 2015年9月30日.
  - 15) 伊藤加代子: 「食べる」ということ～栄養・口腔で大切なこと～, 第1回多職種連携に向けた勉強会, 長岡市, 2015年9月27日.
  - 16) 井上 誠: しっかり食べて楽しく生きよう- 嚥下障害と口腔ケア -. 2015年世界アルツハイマーデー記念講演会, 新潟, 2015年9月26日.
  - 17) 伊藤加代子: 口腔乾燥症のマネジメント. 第25回日本口腔内科学会学術大会ランチョンセミナー, 日本口腔内科学会, 大阪, 2015年9月18-19日.
  - 18) 井上 誠: 嚥下運動誘発の調節機構. 「口の難病」セミナー, 大阪, 2015年9月18日.
  - 19) 井上 誠: 新潟大学における摂食嚥下障害への取り組み. 竹田総合病院NST講演会, 会津若松, 2015年8月31日.
  - 20) 伊藤加代子: 女性ホルモンとドライマウス. ドライマウスセミナー2015, ドライマウス研究会, 東京, 2015年8月31日.
  - 21) 井上 誠: 歯科が嚥下障害に関わること-臨床現場と研究を通して-. 加茂田上地区多職種連携研修会, 加茂, 2015年8月22日.
  - 22) 辻村恭憲: 安全に美味しく食べる. 東新潟特別支援学校摂食・嚥下機能に関する講演会, 新潟, 2015年7月31日.
  - 23) 辻村恭憲: 摂食嚥下スクリーニング検査. 江南区口腔ケアと嚥下を考える会, 新潟, 2015年7月27日.
  - 24) 井上 誠: 食べることと飲み込むことの不思議なメカニズムとその病気. 平成27年度前期新潟大学公開講座, 新潟, 2015年7月25日.
  - 25) 辻村恭憲: 安全に美味しく食べる. 独立行政法人国立病院機構新潟病院講演会, 新潟, 2015年7月24日.
  - 26) 井上 誠: 摂食嚥下の実際. 新潟県歯科医師会認定障害者診療医養成事業研修会, 2015年7月12日.
  - 27) 辻村恭憲: 新潟大学における摂食嚥下障害への取り組み-期待と課題-, 江南区口腔ケアと嚥下を考える会, 新潟, 2015年6月11日.
  - 28) 井上 誠: 求められる介護食開発のために～医療現場からの声～. 工業技術会講演会, 東京, 2015年5月27日.
  - 29) 井上 誠: 摂食嚥下リハビリテーションに関わる歯科の役割と未来に向けて. 神奈川歯科大学新潟県支部同窓会, 新潟, 2015年4月4日.

#### 【学会発表】

- 1) Sakai S, Suzuki T, Tsuji T, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Changes in transmission of oral sensory information during swallowing in anesthetized rabbits. The Dysphagia Research Society 24th Annual Meeting, Tucson, USA, 2016.2.25-27.
- 2) Inoue M, Tsujimura T, Magara J: Peripheral and central control of swallowing initiation in humans. The Dysphagia Research Society 24th Annual Meeting, Tucson, USA, 2016.2.25-27.
- 3) Orsbon CP, Nakamura Y, Palmer SE, Ross CF: Visualizing large datasets of primate hyolingual feeding behavior in low dimensions. Society for integrative and Comparative Biology Annual Meeting 2016, Portland,

- USA, 2016.1.3-7.
- 4) Takahashi K, Nakamura Y, Arce-Mcshane FI, Sessle B, Inoue M, Hatsopoulos NG, Ross CF. Spectral interactions between the primary motor cortex and the primary somatosensory cortex around the swallow onset during natural feeding of macaque monkey. The Dysphagia Research Society 24th Annual Meeting, Tucson, USA, 2015.2.25-27.
  - 5) Mimura S, Nikawa H, Taji T, Ishida Y, Takeishi R, Tenkumo T, Takeuchi Y, Syuto T, Sasaki K, Maeda T, Sugai M: Implementation of BioDental Education in Program for Promoting Inter-University Collaborative Education from MEXT--. 6th Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima, 2015.10.23-25.
  - 6) Kaku S, Akiba N, Nagasawa M, Takeishi R, Ishida Y, Ono K, Maeda T: Development of novel and comprehensive pre-clinical practice course--. 6th Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima, 2015.10.23-25.
  - 7) Nakamura Y, Hiura R, Kobayashi T, Tadokoro D, Kashiwa M, Nemoto T, Uchiyama A, Akiyama M, Sato S, Otuki S, Kameyama A, Suzuki M, Nagai N, Oka H, Takeuchi Y, Hong G, Tenkumo T, Ishida Y, Takeishi R, Maeda T: Short-term visit program co-operated by 3 Universities; Niigata / Tohoku / Hiroshima -- Comparison of Dental Science Education Among Three Japanese Universities and Khon Kaen University in Thailand --. 6th Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima, 2015.10.23-25.
  - 8) Tsuji K, Tsujimura T, Inoue M, Canning BJ : Effect of sodium channel blockers on the initiation of swallows in anesthetized guinea pigs. Society for Neuroscience, Chicago, 2015.10.17-21.
  - 9) Tsujimura T, Tsuji K, Sakai S, Suzuki T, Inoue M : Involvement of ENaC on initiation of mechanically evoked swallows in anesthetized rats. Society for Neuroscience, Chicago, 2015.10.17-21.
  - 10) Sakai S, Suzuki T, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M : The modulation of oral sensory information in the trigeminal and thalamic nuclei during superior laryngeal nerve stimulation. Society for Neuroscience, Chicago, 2015.10.17-21.
  - 11) Hori K, Fujiwara S, Inoue M, Ono T: Assessment of pharyngeal residue using retro-nasal aroma 5th Congress of European Society for Swallowing Disorders, Barcelona, Spain, 2015.10.2-3.
  - 12) Magara J, Michou E, Inoue M, Hamdy S: Exploring the effects of synchronous pharyngeal electrical stimulation and carbonated water on cortical excitability? 5th Congress of European Society for Swallowing Disorders, Barcelona, Spain, 2015.10.2-3.
  - 13) Best MD, Nakamura Y, Kijak NA, Allen MJ, Lever TE, Hatsopoulos NG, Ross CF, Takahashi K : Semiautomatic marker tracking of tongue positions captured by videofluoroscopy during primate feeding. 37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, Milano, Italy, 2015.8.25-29.
  - 14) 辻村恭憲, 辻 光順, 酒井翔悟, 鈴木 拓, 真柄 仁, 井上 誠 : 孤束核グルタミン酸受容体は嚥下誘発に関与する, 第 39 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 大阪, 2016 年 2 月 12-13 日.
  - 15) 真柄 仁, 辻 光順, 林 宏和, 辻村恭憲, 堀 一浩. 井上 誠 : 疾患別に見た舌圧発現の特徴. 第 39 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 大阪, 2016 年 2 月 12-13 日.
  - 16) 野崎園子, 辻村恭憲, 磯野千春, 今井教仁, 松本小百合, 林直子 : 神経内科疾患における服薬困難の実態, 第 33 回日本神経治療学会総会, 名古屋, 2015 年 11 月 26-28 日
  - 17) 篠原千鶴子, 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠 : 更年期女性の口腔乾燥感と更年期症状との関連に関する検討. 平成 27 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2015 年 11 月 27 日.
  - 18) 岩森 大, 山崎貴子, 伊藤直子, 宮岡里美, 井上 誠, 宮岡洋三 : とろみ調整食品を付与した「あん」が嚥下調整食の食感に及ぼす影響. 日本官能評価学会 2015 年度大会, 東京, 2015 年 11 月 7 日, 官能評価学会要旨集 : 37, 2015.
  - 19) 神田知佳, 竹石龍右, 真柄仁, 辻村恭憲, 井上 誠 : 口腔への温度刺激がもたらす嚥下機能への影響, 日本学口腔機能学会第 55 回学術大会, 大阪, 2015 年 10 月 31 日-11 月 1 日.
  - 20) 村上和裕, 小野高裕, 皆木祥伴, 藤原茂弘, 徳田佳嗣, 堀 一浩, 井上 誠, 磯野 舞, 石原清香, 池上聡, 中馬 誠, 船見孝博, 前田芳信 : ゼリー嚥下時の舌圧発現様相と舌骨移動との関係, 日本顎口腔機能学会第 55 回学術大会, 大阪, 2015 年 10 月 31 日-11 月 1 日.
  - 21) 伊藤加代子, 藤田康平, 佐藤英和, 小澤夏生 : 当院口腔乾燥症専門外来における薬物療法に関する報告, 日本歯科東洋医学会第 33 回学術大会, 東京, 2015 年 10 月 3-4 日.
  - 22) 池田聡子, 伊藤加代子, 藤田康平, 佐藤英和, 小澤夏生 : 五苓散が奏功した口腔乾燥症の一例, 日本歯

- 科東洋医学会第 33 回学術大会, 東京, 2015 年 10 月 3-4 日.
- 23) 藤田康平, 佐藤英和, 伊藤加代子, 小澤夏生: 再発性アフタに対する東洋医学的診療の一例, 日本歯科東洋医学会第 33 回学術大会, 東京, 2015 年 10 月 3-4 日.
  - 24) 山崎隆, 伊藤加代子, 藤田康平, 佐藤英和, 小澤夏生: 顔面部帯状疱疹の後遺症による帯状疱疹後神経痛の漢方治療の一例, 日本歯科東洋医学会第 33 回学術大会, 東京, 2015 年 10 月 3-4 日.
  - 25) 佐藤博, 伊藤加代子, 藤田康平, 佐藤英和, 小澤夏生: 震災後の患者への漢方治療経験, 日本歯科東洋医学会第 33 回学術大会, 東京, 2015 年 10 月 3-4 日.
  - 26) 堀口浩一, 伊藤加代子, 藤田康平, 佐藤英和, 小澤夏生: 歯科医院を受診する漢方薬内服患者の留意点, 日本歯科東洋医学会第 33 回学術大会, 東京, 2015 年 10 月 3-4 日.
  - 27) 椎野良隆, 酒井翔悟, 竹石龍右, 林宏和, 塚田徹, 辻村恭憲, 井上誠: リクライニング角度の違いが摂食嚥下機能に与える影響. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 91, 2015.
  - 28) 上村由紀子, 堀一浩, 渡邊賢礼, 飯泉智子, 井上誠: 頸部突出法での嚥下方法が有効であった口底腫瘍切除術症例. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 137, 2015.
  - 29) 伊藤加代子, 山野井澄江, 井口寛子, 別府茂, 秋元幸平, 田辺英児, 井上誠: 「食の支援ステーション」来訪者の要望に関する検討. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 152, 2015.
  - 30) 手嶋謡子, 林宏和, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 井上誠: 当院入院の嚥下障害患者における経口摂取と口腔環境との関係. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 150, 2015.
  - 31) 堀一浩, 藤原茂弘, 大川純平, 井上誠, 小野高裕. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 107, 2015.
  - 32) 井口寛子, 林宏和, 竹石龍右, 酒井翔悟, 辻村恭憲, 井上誠: 米飯ならびに粥食品の咀嚼嚥下を検証する. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 170, 2015.
  - 33) 船山さおり, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄仁, 林宏和, 辻光順, 酒井翔悟, 井上誠: 介護保険施設における本学研修歯科医への口腔ケアおよび摂食指導. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 158, 2015.
  - 34) 木村千亜貴, 手嶋謡子, 難波侑里, 井上誠, 内山壽夫: 脳血管障害患者に対する口腔衛生管理・摂食機能療法の効果, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京都, 2015 年 9 月 11-12 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 105, 2015.
  - 35) 椎野良隆, 酒井翔悟, 竹石龍右, 林宏和, 井上誠: 姿勢の違いが嚥下運動様式に与える影響, 平成 27 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2015 年 7 月 11 日.
  - 36) 三村純代, 二川浩樹, 田地豪, 木原琢也, 石田陽子, 竹石龍右, 天雲太一, 竹内裕尚, 首藤崇裕, 佐々木啓一, 前田健康, 菅井基行: 大学間連携共同教育推進事業におけるバイオデンタル教育の実施, 第 34 回日本歯科医学教育学会学術大会, 鹿児島, 2015 年 7 月 10-11 日.
  - 37) 佐藤新一, 田所大典, 中村吉秀, 大槻里実, 亀山亜美, 鈴木麻里恵, 柏美砂, 根本恭利, 石田陽子, 竹石龍右, 竹内裕尚, 天雲太一, 洪光, 岡広子, 前田健康: 3 大学 (新潟大学, 東北大学, 広島大学) 合同短期留学における, タイ・コンケン大学の歯学教育との比較検討, 第 34 回日本歯科医学教育学会学術大会, 鹿児島, 2015 年 7 月 10-11 日.
  - 38) 下畑享良, 谷口裕重, 中山秀章, 堀一浩, 井上誠, 西澤正豊: 多系統萎縮症における食物の食道残留が睡眠呼吸障害の治療に及ぼす影響. 日本睡眠学会第 40 回定期学術集会, 宇都宮, 2015 年 7 月 2-3 日.
  - 39) 泉野裕美, 堀一浩, 澤田美佐緒, 福田昌代, 畑山千賀子, 野村慶雄, 重信直人, 小野高裕, 井上誠: 地域在住自立高齢者における口腔機能と身体バランス能力との関係. 日本老年歯科医学会第 26 回学術大会, 横浜, 2015 年 6 月 12-14 日, 老年歯科医学 30(2): 163-164, 2015.
  - 40) 椎野良隆, 酒井翔悟, 竹石龍右, 林宏和, 井上誠: 姿勢の違いが摂食嚥下機能に与える影響. 日本顎口腔機能学会第 54 回学術大会, 鹿児島, 2015 年 4 月 18-19 日.
  - 41) 村上和裕, 小野高裕, 藤原茂弘, 皆木祥伴, 徳田佳嗣, 堀一浩, 井上誠, 磯野舞, 中尾理美, 中馬誠, 船見孝博, 前田芳信: ゼリー押し潰し摂取における StageIItransport と舌圧発現様相の関係. 日本顎口腔機能学会第 54 回学術大会, 鹿児島, 2015 年 4 月 18-19 日.
  - 42) 酒井翔悟, 辻光順, 真柄仁, 辻村恭憲, 井上

誠：上喉頭神経刺激による口腔感覚の変調. 日本顎口腔機能学会第 54 回学術大会, 鹿児島, 2015 年 4 月 18-19 日.

#### 【研究会発表】

- 1) 鈴木 拓, 伊藤加代子: 口腔ケア. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2016 年 3 月 22 日.
- 2) 真柄 仁: 咽頭感覚刺激と皮質可塑性変化. 新潟リハビリテーション研究会, 新潟市, 2016 年 3 月 14 日.
- 3) 船山さおり, 保田麻里: 口腔乾燥症, 味覚障害. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2016 年 3 月 8 日.
- 4) 辻 光順, 船山さおり: 介護食品, 食器具の紹介, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2016 年 2 月 23 日.
- 5) 辻 光順, 佐藤 茜: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2016 年 2 月 9 日.
- 6) 中村由紀, 保田麻里: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2016 年 1 月 26 日.
- 7) 伊藤加代子, 佐藤 茜: 口腔乾燥症, 味覚障害. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2016 年 1 月 12 日.
- 8) 伊藤加代子, 鈴木 拓: 口腔ケア. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 12 月 22 日.
- 9) 中村由紀, 佐藤 茜: 介護食品, 食器具の紹介, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 12 月 8 日.
- 10) 辻 光順, 保田麻里: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 11 月 24 日.
- 11) 辻村恭憲, 鈴木 拓: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 11 月 10 日.
- 12) 船山さおり: 口腔乾燥症, 味覚障害. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 10 月 27 日.
- 13) 辻 光順: 介護食品, 食器具の紹介, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 10 月 13 日.
- 14) 辻村恭憲: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 9 月 8 日.
- 15) 辻 光順: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 8 月 25 日.
- 16) 酒井翔悟, 伊藤加代子: 口腔ケア. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 8 月 11 日.
- 17) 伊藤加代子: 口腔乾燥症, 味覚障害. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 7 月 14 日.
- 18) 辻 光順, 酒井翔悟: 介護食品, 食器具の紹介, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 6 月 23 日.
- 19) 辻村恭憲, 林 宏和: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2015

年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 6 月 9 日.

- 20) 辻 光順: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 5 月 26 日.
- 21) 伊藤加代子: 口腔ケア. 2015 年度摂食嚥下セミナー, 新潟市, 2015 年 4 月 28 日.

#### 【受賞】

- 1) 神田知佳, 竹石龍右, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 口腔への温度刺激がもたらす嚥下機能への影響. 日本顎口腔機能学会第 55 回学術大会優秀賞, 大阪, 2015 年 11 月 1 日.
- 2) 大西淑美, 井上侑香, 井上雅子, 伊藤加代子: 周期口腔機能管理による口腔環境の変化～臨床的な効果について～. 日本歯科衛生学会第 10 回学術論文奨励賞, 2015 年 9 月 21 日, 日歯衛会誌, 9(2): 80-87, 2015.
- 3) 酒井翔悟, 辻 光順, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 上喉頭神経刺激による口腔感覚の変調. 日本顎口腔機能学会第 54 回学術大会優秀賞, 鹿児島, 2015 年 4 月 18 日.

#### 【その他】

- 1) 井上 誠: しっかり食べて楽しく生きよう!! 「ぼーれぼーれ」428 号付録: 1-18, 2016 年 3 月 25 日.
- 2) 井上 誠: 平成 28 年度農林水産省・食品産業科学技術研究推進事業 1 次審査専門評価委員
- 3) 井上 誠: 食品製造業向け次世代戦略設計のための連続講座座長 (平成 27 年 12 月 9 日, 平成 28 年 1 月 13 日, 2 月 10 日, 2 月 17 日, 3 月 2 日)
- 4) 井上 誠: 嚥下運動誘発に関わる感覚機能. 九州大学歯学部大学院セミナー, 福岡, 2016 年 1 月 7 日.
- 5) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会主催 2015 年度第 2 回講演会, 新潟, 2015 年 11 月 29 日.
- 6) 井上 誠: 誤嚥性肺炎. 朝日新聞コラム 2015 年 11 月 7, 14, 21, 28 日.
- 7) 井上 誠: 食の支援ステーション紹介. うおぬま会議ビジネス会議 G 摂食嚥下困難者の抱える問題と介護食, 介護食器からの解決アプローチ, 2015 年 11 月 13 日.
- 8) 伊藤加代子: 食の支援ステーション紹介～臨床の立場から～. うおぬま会議ビジネス会議 G 摂食嚥下困難者の抱える問題と介護食, 介護食器からの解決アプローチ, 2015 年 11 月 13 日.
- 9) 井上 誠: 摂食嚥下障害. 昭和大学歯学部大学院セミナー, 東京, 2015 年 11 月 5 日.
- 10) 萬田陽介, 上杉華子, 覚道昌樹, 古志奈緒美, 昆はるか, 佐野祥美, 塩谷洋子, 柴本 彩, 白石 成,

稲田絵美, 真柄 仁, 谷口裕重, 堀 一浩, 井上 誠:  
摂食・嚥下機能の面白さと難しさを知ろう. 顎口腔  
機能の検査・分析—基礎と実践—: 88-91, 日本顎  
口腔機能学会, 2015年10月31日発行.

- 11) 食べる楽しみ最後まで支援. 地域包括ケア 17, 朝日新聞, 2015年10月31日.
- 12) 伊藤加代子: 更年期女性のトータルヘルスケアの推進を目指して, 読売新聞, 2015年10月18日.
- 13) 伊藤加代子: 「口の渇き」高齢者に増える, 日経新聞, 2015年9月27日.
- 14) 真柄 仁: ファカルティアドバイザ. 日本歯科医師会/デンツブライ「スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP)」, 東京, 2015年8月21日.
- 15) 井上 誠: 食べることの大切さを知る. 新潟大学歯学部オープンキャンパス, 新潟, 2015年8月10日.
- 16) 井上 誠: 摂食嚥下障害とその治療. 新潟高校課題研究, 新潟, 2015年8月5日.
- 17) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会共催ばりあふり〜お食事会, 新潟, 2015年8月1日.
- 18) 井上 誠: 食べる機能を知ること支援すること. FOOMA JAPAN 2015 アカデミックプラザ, 2015年6月11日.
- 19) 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野: 超高齢社会に立ち向かう-介護食開発に必要な知識と問題点-. FOOMA JAPAN 2015 アカデミックプラザ, 2015年6月9-12日.
- 20) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会主催 2015年度第1回講演会, 新潟, 2015年5月24日.

### 硬組織形態学分野

#### 【著書】

- 1) 大島勇人: 「その他の神経」, 「顔の血管とリンパ」.  
原島 博 編集: 日本顔学会編「顔の百科事典」第3章生きるための顔—顔の医学—, 顔の生理学と解剖学. 丸善出版, p.171-175, 2015.

#### 【論文】

- 1) Shigetani Y, Yoshida K, Takei E, Yoshida N, Yamanaka Y, Ohshima H, Okiji T: Temporospatial localisation of dentine matrix protein 1 following direct pulp capping with calcium hydroxide in rat molars. *Int Endod J* 48(6): 573-581, 2015.
- 2) Watanabe T, Nakagawa E, Saito K, Ohshima H: Differences in healing patterns of the bone-implant interface between immediately and delayed placed titanium implants into the mouse maxilla. *Clin Implant*

*Dent Relat Res* 18(1): 146-160, 2016.

- 3) Sato T, Kenmotsu S, Nakakura-Ohshima K, Takahashi N, Ohshima H: Pulpal responses to antimicrobials in the infected dental pulp of rat molars. *Arch Histol Cytol* 73(4/5): 165-175, 2010/2011.
- 4) Quispe-Salcedo A, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: The effects of enzymatically synthesized glycogen on the pulpal healing process of teeth with intentionally delayed replantation in mice. *J Oral Biosci* 57(2): 124-130, 2015.
- 5) Nakatomi C, Nakatomi M, Saito K, Harada H, Ohshima H: Enamel knot-like structure is eternally maintained in the apical bud of postnatal mouse incisors. *Arch Oral Biol* 60(8): 1122-1130, 2015.
- 6) Saito K, Ida-Yonemochi H, Ushiki T, Ohshima H: Responses of pulp vasculature to cavity preparation in rat molars. *J Oral Biosci* 57(3): 157-164, 2015.
- 7) Katsumi Y, Takagi R, Ohshima H: The occurrence rate and diameter of arteries traveling near the mandible and assessment of relative hemorrhage risk in implant surgery. *Clin Implant Dent Relat Res*. 2015 Jul 1. doi: 10.1111/cid.12365. [Epub ahead of print].
- 8) Kasahara N, Tanaka R, Hayashi T, Kenmotsu S, Ohshima H: The relationship between a maxillary sinus and superior alveolar nerves and vessels demonstrated by cone-beam CT combined with  $\mu$ -CT and histological analyses. *Anat Rec (Hoboken)*. 2016 Feb 13. doi: 10.1002/ar.23327. [Epub ahead of print].
- 9) Ida-Yonemochi H, Otsu K, Ohshima H, Harada H: The glycogen metabolism via Akt signalling is an important for the secretion of enamel matrix in amelogenesis. *Mech Dev* 2016 Jan 22. pii: S0925-4773(16)30002-8. doi: 10.1016/j.mod.2016.01.002. [Epub ahead of print].
- 10) Shigetani Y, Ohkura N, Yoshida K, Ohshima H, Hosoya A, Yoshida N, Okiji T: GaAlAs laser-induced pulp mineralization involves DMP1 and osteopontin expression. *Oral Dis* 2016 Feb 11. doi: 10.1111/odi.12461. [Epub ahead of print].
- 11) Saito K, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Osteopontin is essential for type I collagen secretion in reparative dentin. *J Dent Res*. 2016 Apr 28. pii: 0022034516645333. [Epub ahead of print].
- 12) Morita W, Morimoto N, Ohshima H: Metameric variation in human molars demonstrated by morphometric mapping. *J Anat*. 2016 Apr 21. doi: 10.1111/joa.12482. [Epub ahead of print].

#### 【商業誌等】